



2020年度がスタートして二カ月が過ぎました。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、自由に活動しきれないところがありましたが、保育室での子どもたちの居場所探しには、大きな影響はなく、子どもたち自身は、自分の居場所を見つけ、成長をしている姿が見られます。

自分の居場所が確立しないと、人に優しくはできません。

「ここが自分の居場所」、見つけることは大切です。居場所は、その子によって違います。大人の感覚で決めつけることはできません。子どもたちが自分で見つけてこそ、自分の居場所になります。

自分の居場所を見つけてそこを拠点に行動することには、意味があります。

困った時の逃げ場です。大変な時に逃げ込むことができる場所です。困った時の対応方法、『誰にSOSを出せばよいか』それが大事です。その場所は、友だちかもしれません。先生かもしれません。隠れ場所かもしれません。その全部かもしれません。その居場所は、体験して探すのです。居場所が見つかり、そこで自己発揮をすることができるようになると、友だちに、人に優しくなれるようになります。

子どもたちの優しさを感じることができますか？

まだ、居場所がまだ見つからないときは、優しさを感じることができないかもしれません。

もう少し時間がかかるかもしれませんが、みんな自分の居場所を探し当てます。

それが保育室すまいるの保育だからです。

